
アノヒユキノヒハルノコロ

嘩月 - ka「d/z」uki -

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アノヒユキノヒハルノコロ

【Nコード】

N0562J

【作者名】

嘩月 - k a 「 d / z 」 u k i -

【あらすじ】

- - - - -

アノヒ春の頃 名残ある空と心
まだ雪は降って…

「またね」と言って欲しかった
手を振って笑っていて欲しかった
震える体は寒さのせいなのかな？

白い息で遊ぶ君 寒いねと笑い合ったよね
白い雪で遊ぶ君 もっと積もるのを待ってたよね

いつまでも何気ない会話を覚えてる僕は 女々しくて情けない

春雪が降る

春風が吹く

涙雨降る

白い息吹く

春が来て咲く桜 アノヒ浮かべて散り染みに…

「さよなら」残して消えた
目が揺れて笑っていた僕の顔
ゆらめく視界は桜のせいなのかな？

白い息で遊ぶ君 寒いねと笑い合ったよね
白い雪で遊ぶ君 もっと積もるのを待ってたよね

いつまでも何気ない会話を覚えてる僕は 女々しくて情けない

「ありがとう」君の最後の言葉
雪降って遥か彼方へ去った

愛し合えないのは僕のせいなんだね

桜散るは春の頃 一人で感傷浸ってる
もう昔の事だから 泣かないけれど悲しいよ

変わらないモノはないけど思い出は褪せる事無く 哀しく忘れられない

アノヒ 雪が降る春の頃

イツカ 記憶消ゆ時を待つ

アノヒビ いつまでも僕の中に……

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0562j/>

アノヒユキノヒハルノコロ

2011年1月25日08時23分発行